

## 成果の説明書

(氏名)夏苺 佐宜	(学部)経済学部
1 重要事項	
A. 研究活動	
1) 個人研究	
英語教育と第二言語習得に関して研究と研究発表をいたしました。主な活動は以下の通りです。	
- Eighth International Conference on Task-Based Language Teaching (August 19-21, 2019 at Carleton University, in Ottawa, Canada)にて、monologue task に関して発表を行いました。	
- TBLT については、インプットに注目したタスクに関する Literature survey を実施しています。継続中です。	
- JALT (The Japan Association for Language Teaching) 2019 (November 1-4, 2019 at WINC Aichi in Nagoya, Aichi Prefecture)にて、クラスサイズ研究に関して発表を行いました。	
2) 学会活動	
参加している英語教育に関する学会や学会の研究会で以下の活動をいたしました。	
- 関東甲信越英語教育学会の第 43 回神奈川研究大会 (2019 年 8 月 10~11 日、横浜国立大学) に参加いたしました。	
- JACET SLA 研究会の公開研究会 (2019 年 9 月 16 日獨協中学高等学校) にて、The Routledge Handbook of Instructed Second Language Acquisition から 10 章 Input Processing の章を担当し、Input Processing という教授法について議論しました。	
B. 教育活動	
英語部会としてカリキュラムの運営について、以下の活動を含む業務に従事しました。	
- 2019 年度のカリキュラム運営に関する業務一般	
- 英語 e-Learning 教材の個人利用促進業務	
- Extensive Reading Program 用の追加教材の選定と図書館への発注依頼	
2 その他の事項	
英語科目担当者として General English I, II (Pre-Intermediate) と Business English III, IV (Intermediate) のコーディネート業務をいたしました。	
3 次年度以降の計画・抱負	
2019 年度は、英語教育と英語習得に関してここ数年で収集してきた調査を学会発表することができました。特に、TBLT 2019 に参加することができ、Task-Based Language Teaching についてより実践的なアイデアを多く得ることができました。今まで、学習者言語やアウトプットに焦点を当てて調査していましたが、さらにこれを発展させるためにはタスクや言語習得一般に関してインプットにも焦点を当てる必要があると感じてい	

ます。これと同時に、スピーキングやライティングに関するデータ収集や調査も継続して実施していきたいと思います。引き続き、英語習得や第二言語習得理論について研究で得た知識を、大学のカリキュラムや授業実践に活かしていきたいと思います。